



月	日付
日	名前

問題

次の文章を、まず声に出して読みましょう。その後、問題に答えましょう。

鳥や魚のように、自分の眼が頭の両側についていて、右の眼で見る景色と、左の眼で見る景色と別々にまるでちがっていたら、この世界がどんなに見えるか、そうしてわれわれの世界観人生観がどうなるか。……

いくら①骨を折って考えてみても、こればかりは想像がつかない。

鳥や【 】になってしまわなければ②これは分からない。

(寺田寅彦作「柿の種」より)

1 ①の「骨を折る」は慣用句です。この文章の中でふさわしい意味は何ですか。

ア 問題を解決するために苦勞する。

イ 人のために一生懸命世話をする。

ウ うでや足を骨折してしまつて苦しむ。

2 【 】の中に入る言葉を探して、文章の中に書き入れましょう。

3 ①②の「これ」は指示語です。次の1・2に答えましょう。

1 何を指しているか、文章の中に―線を引きましょう。

2 1で―線を引いた所には、二つの疑問が書かれています。それを書きましょう。

() という疑問。

() という疑問。

4 この文章は何について書かれていますか。

ア 眼の位置と、世界の見え方や世界観人生観とは関係が深そうだが、想像はつかないということについて。

イ 鳥や魚の眼の位置は、人間の、世界の見え方や世界観人生観と深い関係がありそうだが、想像がつかないということについて。

ウ 人間と鳥や魚とは眼の位置がちがうので、世界の見え方も世界観人生観もちがっているだろうが、はっきりは分からないということについて。